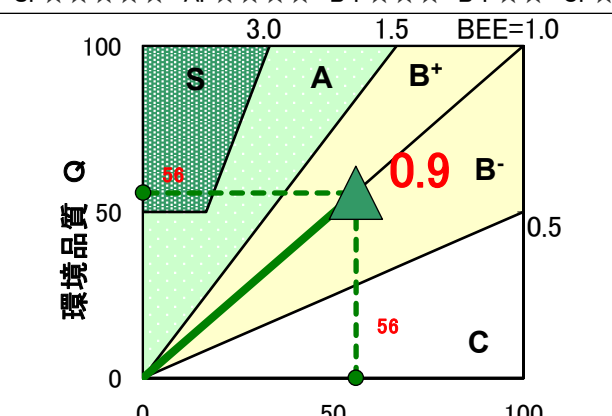
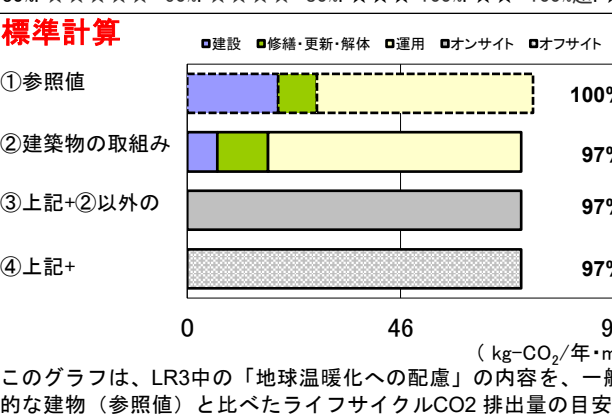
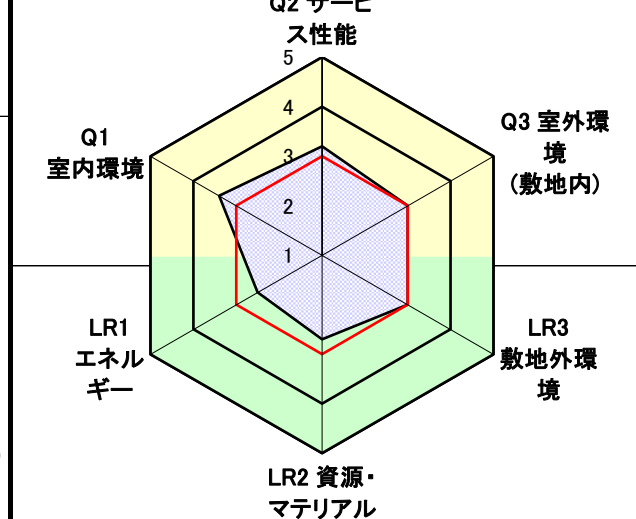


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)藤沢市鵜沼橋1丁目計画 新築工事	階数	地上5F、地下1F
建設地	藤沢市鵜沼橋一丁目22番2の一部、22番3	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	57 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年10月 予定	評価の実施日	2026年2月24日
敷地面積	942 m ²	作成者	一級建築士事務所有限会社アイ.エィチ.エス.アーキテクト
建築面積	459 m ²	確認日	2026年2月24日
延床面積	2,099 m ²	確認者	一級建築士事務所有限会社アイ.エィチ.エス.アーキテクト

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.9 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★ 	標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ 	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア= 3.2

Q1 室内環境

Q2 サービス性能

Q3 室外環境 (敷地内)

Q1のスコア= 3.4

Q2のスコア= 3.2

Q3のスコア= 3.0

項目	スコア
音環境	3.2
温熱環境	3.1
光・視環境	3.5
空気質環境	3.7

項目	スコア
機能性	3.6
耐用性・信頼性	3.2
対応性・更新性	2.7

項目	スコア
生物環境	3.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	3.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア= 2.7

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

LR1のスコア= 2.5

LR2のスコア= 2.7

LR3のスコア= 3.0

項目	スコア
建物外皮の熱負荷	3.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	2.0
効率的運用	3.0

項目	スコア
水資源保護	3.4
非再生材料の使用削減	2.5
汚染物質回避	3.0

項目	スコア
地球温暖化への配慮	3.1
地域環境への配慮	3.0
周辺環境への配慮	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
藤沢駅の近くの第一種住居地域に地下1階地上5階の共同住宅を計画した。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
開口部の遮音性能T-2以上としている。 建築材料は、F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	ネット環境はNTT光を設置している。 耐用年数の長い空調・給排水配管材を採用している。	特になし。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
特になし。	泡沫水栓に加えて、節水型便器を採用している。	広告物照明は、行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される